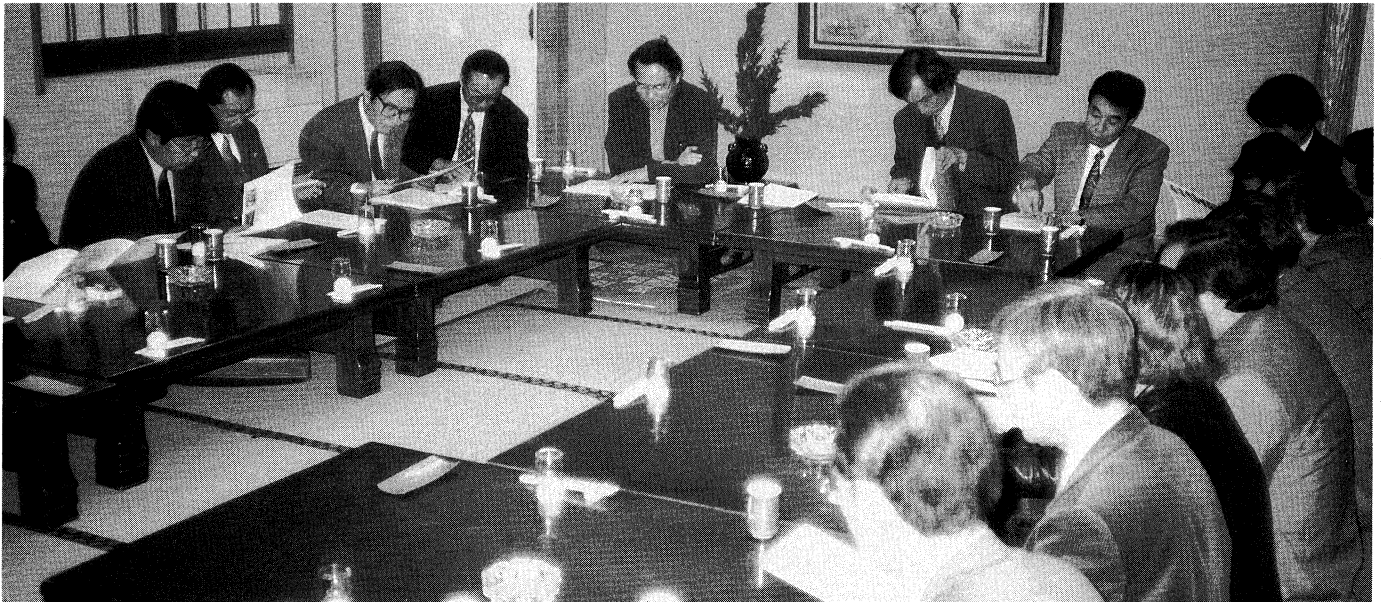


JIA 長野県クラブ 25

社団法人 日本建築家協会

1997. 1. 1



第4回本音で語ろう会（11月26日松本市内で）



地域社会への貢献

代表
出澤 潔

新年あけましておめでとうございます。昨年JIA長野県クラブ代表のご指名をお受けして以来、会員・賛助会の皆様、行政当局・関係諸団体の皆様のお力によりその責務を務めさせていただいて参りました。心からの感謝を申し上げますと共に、本年もどうか昨年同様のご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

日本建築家協会は本年10周年という節目の年を迎えます。建築家の職能確立と新しい時代の建築家像を求めるといふ目標実現のため、さまざまな活動を通して社会にアピールして参りました。JIA長野県クラブも、その目標を受けて積極的な活動を続けております。

私は、クラブ発足10年目に当り、会員の皆様がそれぞれの立場で私達の目標をあらためて考えてみななければならないと考えます。私は、建築設計という職能を通じて、地域社会に貢献するという責任と、社会の一員としての場が与えられていることを皆様と共に確認したいと思っております。そしてその責任を全うするために自分の立場を明確に社会にアピールする努力も必要と考えています。この二つのことは、自分のためにだけでなく、生き続ける地域社会の人々のために実行しなければならない責任があると考えます。この責任をはたすため、私達はそれぞれの立場を理解し合いながら、手を繋ぎ合わなければならないと思っております。JIA長野県クラブは貴方のものです。今年も皆で楽しく集い、夢を語り合ひましょう。



建築への情熱で前進

相談役
伊藤 宗春

皆様あけましておめでとうございます。長野オリンピックも肌を感じるほど近づいてくる時節となりました。皆様お元気で新年を迎えられたことと拝察申し上げます。小生も老骨に鞭を打って生きております。そろそろ引退してゴルフのシングルでもめざしたいと思っているこの頃です。

さて、最近の社会情勢は楽観視できる状況ではありません。我々の業界においても受注競争は激しさをましていくものと考えられます。いきおい設計料のダンピング等諸問題が発生してくる可能性があります。また、労働時間への対応もしていかなければなりません。

このような状況の改善に向けて我々は日々努力しつつ、本来の使命である建築に対する情熱を失う事なく前進していきたいと思っております。

お知らせ

第5回文化講演会

講師/玉村 豊男氏 (エッセイスト)

3月10日(月)15:00~17:00

山王共済会館 (長野市岡田町)

北信



わくわく…空間の魅力

佐藤 友治
計画工房都市建築設計事務所

長野市のJR長野駅前に都市型ホテル「メトロポリタン長野」がオープンしました。何となく「わくわく」した雰囲気があり、その華やかなイメージから市内のOL、若者、オネーサン、オネーサン、オジサン、オバサンが「一度は行ってみたい症候群」にかられ連日の混雑に拍車をかけているようです。

ここで注目に値することは、これがホテルのオープンだということです。クリスマスツリーがきらびやかに設置され、広々としたラウンジと吹き抜けが東京のシティホテル風のイメージを醸し出し、連続するロビーとフロントが空間の拡大を強調しています。それらは華麗な室内空間を構成し魅惑の大空間を創り出している。吹き抜けを昇降するエスカレーターはこのラウンジを見おろしながら運転され、新しい空間の演出を楽しませてくれます。

県都長野市に従来無かったタイプのホテルが営業を開始したことは事実です。この1年の間に長野市内で老舗のホテルが新装あるいは増築してオープンしています。しかしこれらについて当時の感覚を思うと「そのうち一度は行ってみたい気がする」程度でこんな風にワクワクして一般化したものでは無かったような気がします。

デパートやスーパーマーケットのオープンには大安売り等多くの人寄せイベントが開催されることとなります。結果として人々は特に買物の目的がなくても集まります。家族で、夫婦で、あるいは友人同志で連れだって店にやってきます。物を売る業種でないホテルのオープンは何物でもない何かの魅力を創出しなければ「ひと」は集まらないでしょう。

パンケットの営業努力も当然にあることかと思えます。年の瀬のどこかせわしない時期、何かと外へ出る機会の多い時期でもあります。結婚式、忘年会等の予約も相応に確保していると聞いていますが、それ以上に普通の人々が何かにつかれたように「メトロポリタンへ行ってきた？」とささやきあっている。これは何を示しているのだろうか？2階のラウンジは外国人女性のシンガーがなじみのヒット曲を歌っていました。席を確保するのに30分も待たなければ入れない状況が連日続いています。

「華やかさへの憧れ」その心理に微妙に支配された人の本能みたいなものではないだろうかと思えます。

建築の設計者として人の持つ潜在的な欲求を引き出しその期待に答える事が出来ることも大きな使命のひとつではないかと考えさせられる現象です。「良い建築・空間」とは何か？「人を幸福にする建築・空間」として考えさせられました。

東信



快適と便利さの必要性

竹花 彰男
彰建築設計事務所

最近の生活環境を観ていると、快適とか便利さという言葉に耳にしないうるほどに言われています。冬をどのように快適に過ごしたらよいか。夏をどのように快適に過ごしたらよいか。または空間をどのように便利に使うか。物をどのように便利に使ったらよいか…。

快適とか便利さという言葉は、人間にとってとても魅力的な言葉だと思います。ですが、人間は本来とても怠けもののように思います。つついその環境に慣れてしまい、ハード面での技術や工夫に任せっきりになってしまう。そしてこの状態をあたりまえに思い込むようになってしまう。でも人間が生きていく枠の中でみると、ほんの一部のエリアにすぎないように思います。

私の子供の頃の自宅は築百年ぐらいの農家住宅でした。居間の外は障子1枚、その外にエンガワがあり、雨戸が付いていただけの家でした。夏はそれ程不快さは感じませんでした。冬の寒さは別格のように思いました。

暖房というと掘コタツと灯油ストーブだけで、今思うとよく生活ができたものだと思います。そんな寒い冬の中で風邪をひく事もなかったものだと思います。

本来、人間の体はその環境に順応するようにできているようです。だから悪条件の中でもそれなりに生きてきたのでしょ。ここ20~30年の間でも、人間の体は少しずつ変わってきているように思います。言い方を変えると、少しずつ体が弱くなり、体力や抵抗力も少なくなってきたように思います。

囲まれた空間の中だけで全てがまかなえるのであればそれでも良いかも知れませんが、まだまだそんな訳にはいきません。私達も生活していく以上、家を拠点に外に出なければなりません。また、特定のエリアだけではまだ不十分です。今はもう日本だけではなく地球全体を生活圈として考えなくてはならないように思います。

そんな中でこれから考えなくてはならない事は、やはり一部の快適で便利な環境だけでは人間は生活する事ができません。どんな悪条件の中で生きていく事になるかも知れませんが、人間が本来そなえている余力や抵抗力や体の全ての機能を低下させない努力が必要になってくるのではないのでしょうか。

全てにバランスが必要だと思います。

中信



World Explore

「都市と建築」の「保存と開発」- 2

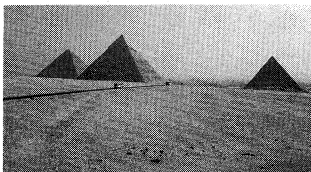
小笠原 光彦

㈱県設計事務所

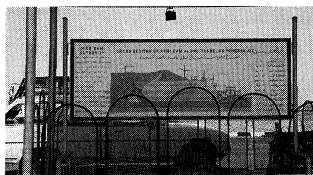
今回は建築ではなく、土木工作物のダムをとりあげ保存との問題を考える。

写真のピラミッドと湖、関係のないようなアフリカの風景。実は保存と開発の問題に密接なかわりがあるのだ。写真はエジプト、カイロ近郊のピラミッド(クフ王・カフラー王・メンカウラー王)とスフィンクス。水没を避けるため遺跡を近代的技術工法の大規模工事により移築したアブシンデル神殿前をさかのぼるナイル川で、隣国スーダンまで広がるナセル湖の(ナセル大統領により造られた)アスワン・ハイ・ダムである。ダムの貯水量は、1,570億 m^3 。世界第3位(琵琶湖の約8倍)である。

問題というのは、ダム建設前はナイル川が悠久と流れていたが、国の発展と国民の生活水準を上げるために、電力=ダム建設が必要条件となったこと。結果としてナイル川の毎年の定期的な氾濫が無くなり、かつ、経済的発展効果に寄与したわけであるが、デメリットもでた。



ピラミッド



アスワン・ハイ・ダム

氾濫により上流の肥料となるべき成分が下流域に充当されないで、川の周辺は作物や緑が育たなくなり、砂漠化が一層進む事になった。又、ダム湖に貯められた水は地中に浸透して上に蒸発発散し、これらの量だけでも数割に相当するそうで、蒸発した水分は上空で雲をつくり乱気流を発生させ、なんと1,000km以上北にあるカイロまで影響を及ぼし、降水量の少なかった地方に雨を降らせる結果となった。そして、この雨が約4500年前からのピラミッドやスフィンクスを急激にキズつけいためる原因となったのである。

雨が降るようになったといっても農業ができるほどではない。これらの修復、保存のために日本をはじめ数ヶ国が協力している。開発の一方で膨大な費用と力と汗を保存に注がなければならないわけだ。エジプトでは両方を天びんにかけて問えば、ダム建設は100%成功であったと返事がかえってくるそうだ。

人間が地球上に生きている限り破壊は常にまとわりつく。

賛助会



車の両輪で

坂田工業㈱ 坂田 守夫

あけましておめでとうございます。皆様方には希望を持った新しい年をお迎えの事と存じます。昨年1年間は何かとお世話になりました事厚くお礼申し上げます。

昨年、先生方と賛助会員の間で色々な問題について討議してまいりました。その中で先生方にも大変ご協力を頂きまして、我々賛助会員とのコミュニケーションの重要性を考えて頂き、交流委員会を作って会合を重ねてまいりました。まだ動き始めて時がたっておりませんが、交流委員長の高橋先生のおかげご指導により順調に進んでおります。本年も交流委員会を活発に開催して、先生方と賛助会員の双方が、よりメリットがあり、お互いに動きやすくなる様努力を重ねたい所存であります。

建築家と技術者集団が完全にドッキングした時、非常に高度な建物が出来上がると私は思います。是非共ご協力を願って、賛助会のメンバーを盛りたてて頂きたいと思えます。

JIA長野県クラブの先生方と我々賛助会員は車の両輪であるという自覚のもとに、1年間頑張っていきます。信州建築家カタログの作成等、本年も大変忙しくなると思われますが、賛助会としても最大限のご協力をします。

皆様方のご協力により本年もよろしくお願い申し上げます。



市場を豊かに

㈱シマコー 田中 義彦

「川が汚れていたら皆で掃除して魚が住めるようにする。魚が大きく育ったらその自然の恵みを皆で分け合う」。これは某会社の企業理念ですが、私達が各々の市場で商売をしてゆくうえでも同様のことが言えるのではないのでしょうか。

価格破壊と称する嵐が吹き荒れて、安ければなんでも良いという風潮が市場を支配してしまった。建築の価値も創る職人の技能も全てのものをぶち壊してしまった。私達はただ傍観しているわけには参りません。建築家の皆さんの立派な作品が施主に認められ後世に残る建物となり、それを創る技術・技能が充分に発揮される市場となるようにすることが、今私達にとって一番大切なことと思えます。

幸いにしてJIAの建築家の皆さんの熱意が各会議や懇談会「本音で語ろう会」等々で強く伝わって参ります。私達賛助会員も各々の立場で価値のある技術・技能を提供して価格破壊の言葉に踊らされることなく本当のコストダウンと真の価値を認めてくれる市場づくりに積極的に参加して参りたいと思えます。


豊かな市場は皆で協力して創り上げるものです。建築家の皆さん、賛助会員を御活用下さい。良い方向になるように共に努力してゆきたいと思っております。

謹賀

迎春

伊藤宗春

相談役



宮本忠長

相談役

自然保護と保存
国土利用と開発
住みよいまちづくりを考えよう

(株)桂建築設計事務所
南島宗市

相談役

新年
おめでとうございます



城取義直

相談役

新年

役員一同

副代表・会員委員長・
建築家カタログ作成検討特別委員

「信頼」を受け
「信頼」にこたえる
職能の重さを
考える年に!!

松下重雄

美しい故郷のために
愛する人々のために
より良い地域社会を求めて
皆で手をつなぎましょう

出澤 潔

代表
(支部常任幹事)



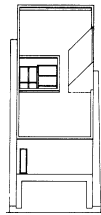
明けましておめでとうございます
本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

一九九七年 元旦
上村保弘

副代表・事業委員長
(支部幹事・総務委員)

新年あけまして
おめでとうございます

関建築+まち研究室
関 邦 則



副代表・総務委員長・広報委員長
(支部業務委員)

髯ローカル建築設計室

高橋重徳

副代表・交流委員長・
建築家カタログ作成検討特別委員

本年も宜しく
お願い申し上げます

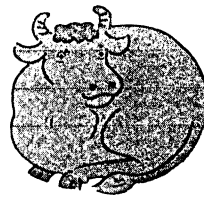
株式会社 アーキ・クリエイション
須田考雄

理事・総務副委員長・交流委員



理事・交流委員

新春のお慶びを
申し上げます



(有)A&A構造研究所
新井典史

理事・建築家カタログ作成検討特別委員
委員長・事業委員・まちづくり特別委員



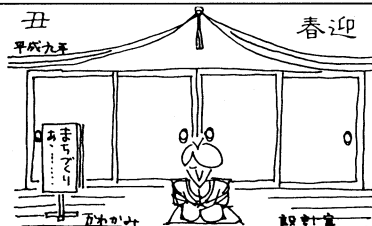
倉橋英太郎
古いものを
未来に

(株)日本建築家協会 会員
JIA長野県クラブ 会員
日本空缶をポイ捨てしない会 副会長

久保田 三代

(皆さんもこんな名刺を作って副会長を名乗って下さい。多くの副会長を望んでいます)

理事(会計)・
建築家カタログ作成検討特別副委員長




理事・まちづくり特別委員長・
建築家カタログ作成検討特別委員

謹賀新年

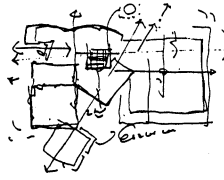
建築研究所フォーラム
御子柴 進

理事・会員委員


設計・監理

依田政司建築設計事務所
 代表取締役 依田 政司

理事・総務委員・
 建築家カタログ作成検討特別委員

歴史を現代の
 接点に再び...
 今年もよろしく
 お願い申し上げます。
 建築家
 かたから たかゆき

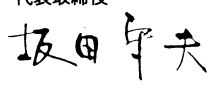


理事・事業副委員長・建築家カタログ作
 成検討特別委員・まちづくり特別委員


久保隆夫

迎春
 本年もよろしく
 お願いいたします
 (株) シティプラン
 土屋 長 命

理事・広報委員


代表取締役

坂田 卓夫
 坂田工業株式会社

理事・賛助会長・
 交流委員副委員長・広報委員・
 建築家カタログ作成特別委員

Human & Technology
 柳東芝、柳荏原製作所 県下代理店
中信電機株式会社
 小野澤 秀世


理事・賛助副会長・
 交流委員・広報委員・
 建築家カタログ作成検討特別委員

あけましておめでとうございます
 今年もどうぞよろしくお願
 いたします
櫻井 武久
 (株) 櫻井武久建築設計研究所




監事・交流委員・
 建築家カタログ作成検討特別委員

今年も宜しく
 お願い致します
株式会社 角 藤
渡辺 一成
 謹賀新年



総務委員

美しい
 まち
 づくり
 株式会社 環境計画
 沖村 陽一


 株式会社 フジ設計 場々 洋介
 まちづくり特別副委員長・総務委員

謹賀新年
北澤 隆重
 (株) 伊藤建築設計事務所


交流委員

謹賀新年
中澤 栄二
ABC
 株式会社 エーピーシー
 一級建築士事務所


交流委員・
 まちづくり特別委員

増田 祐一
ARS 株式会社 アルス設計

交流委員


溝端 利一

交流委員・建築家カタログ作成検討特別委員


Ai 設計事務所
 (株) アイ設計 代表取締役
 所長 宮下 治

交流委員

「NEW LIFE
 HABITATION」
笠井 邦夫
 株式会社 タキザワ・ホームिंग

交流委員

赤 塩 政 広
 株式会社 本 久

交流委員

企画や交流の多い年になりそうです。
 会員の皆様のご協力をお願いします。
 (株) タジマ
菅場 健治

交流委員・事業委員


 株式会社
シマコー
 専務取締役
 田中 義彦

交流委員・事業委員

KOKUYO

常務取締役

西原重男

株式会社 長野ココロ

交流委員

新年あけましておめでとうございます
本年も宜しく願い致します



藤沢 和裕

交流委員

迎春



事業委員



荻原 白

事業委員



荒井茂明

会員委員



明けましておめでとう
ございます
独立して早くも半年余り、
社会の荒波にもまれながら
も、とにかく精一杯頑張っ
ています。

新井 優



会員委員

新年あけまして

おめでとうございます

彰建築設計事務所

竹花 彰 男

会員委員



新年明けましておめでとう
ございます。
今年は少しでもJIAのお
役に立ちたいと思ってお
ります。

児野 登

株式会社 アーキディアック環境計画研究所

会員委員・事業委員

HAL 設計室

荒井 洋

事業委員



伊藤 公績

事業委員・まちづくり特別委員

INTERNET・VIRTUAL-REALITY・DIGITAL-DESIGN
MULTI-MEDIA・ISDN・COMPUTER-GRAPHICS・CAD・
WINDOWS・ZURUS・CIBER-SPACE・ARC-MEDIA・
E-MAIL.....& SOMETHING ARCHITECTURE

1997.1.1

有限会社斎藤建築デザイン室 斎藤 治

事業委員

あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしく願い申し上げます

平成9年 元旦

(株)マルタ設計長野事務所
所長 篠田 博文

事業委員

武井 辰夫

有限会社
武井建築設計事務所

事業委員

迎春

1997年1月

本年もよろしく願い
いたします



館kan設計工房

主宰 丸山 幸弘

事業委員・まちづくり特別委員

大橋 得二

株式会社イトーキ
長野支店長

事業委員

Happy New Year

ダイダン(株) 水野三郎

事業委員

汚れなき意志を
建築に・・・

君島 弘章

THE EVOLUTION OF
EXPRESSION

広報委員・
まちづくり特別委員

池田 瑞夫

池田建築工房

まちづくり特別委員

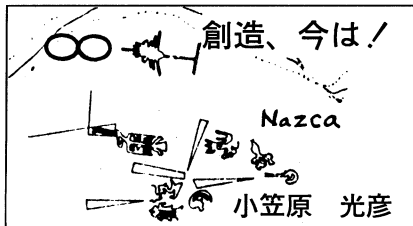
あけましておめでとう

ございます

篠田 尚 幸

NAO設計室

広報副委員長



広報委員

あけまして
おめでとうございます

株式会社 国代耐火工業所



名古屋支店：愛知県瀬戸市上本町496〒489
TEL: 0561-48-1171 / FAX: 0561-48-3220
営業本部 TEL: 03-5484-9246

地域の限りなく豊かな21世紀をめざして
土木・建設資材・工事総合商社



炭平コーポレーション
S U M I H E I

本社 / 〒381 長野市北長池1667 TEL: (244) 3751(代)

TSボード(高圧木毛セメント板)
竹村工業株式会社

本社 ● ☎ 399-33 長野県下伊那郡松川町上片桐4604
☎ 0265-36-6111 ☎ 0265-36-6555
東京営業所 ☎ 0425-97-4839 ☎ 0425-97-5689

T.R.T.KO 総合水処理専門メーカー

東京理工器株式会社

長野県上田市殿城874-1 TEL: (0268) 24-1794(代)
FAX: (0268) 24-1770

NOYASU

ウルトラ3 S瓦・窯変コスモルーフ・新しいぶし瓦
野安製瓦株式会社

本社：〒444-13 愛知県高浜市田戸町2-2-44 ☎ (0566) 52-1148
長野営業所：〒382 須城市大字小山字南原3-43 ☎ (026) 245-8700

Creative & Artistic Engineering
創造的で審美的な技術を目指して

ヤマキ工業株式会社

本社・工場 / 長野県須坂市小河原3954-20(松川林間工業団地)
TEL: 026-248-1121(代) FAX: 026-251-2000



新・インテリアイズムを創造する

リカラ株式会社

松本営業所

〒390 松本市出川2-16-2 リパティ出川1F
TEL 0263-28-8625(代)

謹賀新年

平成9年元旦

JIS A9511 XPS (押出発泡ポリスチレン断熱材)

カネライトフォーム®
KANEKA

鐘淵化学工業株式会社
東京本社 建材営業部 03-5674-8070
大阪本社 建材営業部 06-226-5301

内装工事・オフィス家具・改装工事・システムキッチン
株式会社



シマコー

本社 / 松本市大字笹賀7600-2 TEL: 0263(58)0456(代表)
松本支店・岡谷支店・長野支店・上田営業所・東京支店・「カーテン工房アイル」



ALWAYS
WITH ALWAYS
YOU WITH ALWAYS
YOU WITH
YOU YOU

ダイワン株式会社

いいものを真心こめて



立山アルミニウム工業株式会社

本社 〒933 富山県高岡市早川550番地
松本営業所 松本市島立846-1 TEL: 0263-47-5663

謹賀新年

株式会社 ニュースト

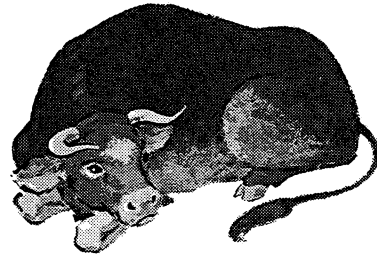
本社 長野市川中島町四ツ屋1,216 026(284)1121
支店・営業所 東京/松本・甲府・名古屋/横浜/新潟/札幌



株式会社 前田鐵工所

代表取締役 前田市也

〒381 長野市吉田4丁目14番8号
電話 (026) 243-0261番



本年もよろしくお願ひ申し上げます

クラブインサイド

第4回理事会

関 邦 則

9月25日松本市のホテルサンルート松本にて開催。以下議事より。▶賛助会員3社の入会承認▶委員会事業計画では定款の見直しに着手。賛助会メーカーリストの改定は早急に実施。本音で語ろう会、学生卒業設計コンクール、文化講演会は例年通り実施。懸案の建築家カタログは「信毎リビング信州別冊」として自費出版の方針で検討続行とし賛助会にも広告の協力を依頼▶規約の改定は文面整理し、文書様式を改定▶リフレッシュセミナーは川上氏参加

第1回会員委員会

松 下 重 雄

顔合わせを兼ねた第1回会員委員会は、10月18日松本で行った。テーマを「本音で語ろう会」に絞り、いかに多勢の会員が気軽に集まれるようにするかを話し合った。委員同志が先ず本音で語る機会となり、本番の予行演習のような委員会となった。

第2回交流委員会

高 橋 重 徳

10月21日委員12名が出席。倉橋建築家カタログ作成検討特別委員長を迎え、建築家カタログの作成・発行に関し協力をお願いと説明をされ、皆さんで討議。メーカーリストの改定案についても提案され、それぞれ検討を重ね研究し実施する様、努力することとなった。

第1回事業委員会

片 倉 隆 幸

11月11日開催。文化講演会の内容と講師について話し合った。第5回を迎える今回の講演会は、建築家以外にしたいということになり、エッセイストの玉村豊男氏を候補に交渉することになった。3月に長野市で開催。

第2回総務委員会

関 邦 則

11月19日(火)に開催。懸案の「定款」について、全面改正原案をつくり委員諸氏の意見を求めた。主な改正ポイントは代表及び役員を選出方法の変更、準会員の扱いや会員の権利の明示等。いずれ皆さんの意見も聞きたいと思っている。

第5回理事会、本音で語ろう会 久 保 隆 夫

第5回理事会は11月26日松本市の松本駅前会館で開催。引き続き第4回「本音で語ろう会」と忘年会を仙岳で行った。語ろう会の参加者は29人、初参加も多数。「メーカー攻勢と現場技術衰退のなかで信州の住宅はどこへいくのか？」との刺激的なテーマ。我々設計者は如何に考えるべきか、また、我々の市場進出一助として建築家カタログの発刊方法とその是非などが話題に(残念ながら詳細は略)。中盤からは意見百出。終盤には時間不足の感あり。忘年会へ議論を持ち込むメンバーも多く、次回が楽しみ。私も住まいはそこに棲むひとの顔が見えるところで創られるべきと考えている。

— 新入会員紹介 —

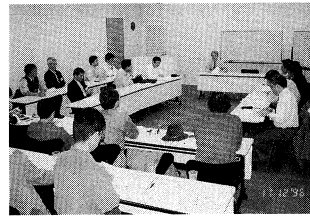
賛助会員(メーカー・代理店)

(株) ヤジマ(諏訪市)

クラブアウトサイド

第4回JIAリフレッシュセミナー 川 上 恵 一

11月10日(日)~12日(火)第4回JIAリフレッシュセミナーは全国から35名の若者(?)が熱海に集まった。温泉、プール、3食付の極楽だ!と思いきや、非常にハードな教育現場であった。何しろ二泊三日で『建築プロフェッションのあり方』というむずかしいテーマでたくさんの資料が配られ、朝から夜中まで缶詰状態での勉強会。中身はセミナー各種、ディスカッション、グループ別の研究、まとめ、発表感想等と、卒論のゼミの様で厳しくも真剣さをなつかしく思い起こした。教師陣は穂積会長はじめ相田武文氏、鈴木エドワード氏、団紀彦氏ら。ひざをつき合わせての議論もできた。そんな中で再認識したことはこれだけの組織が世間にはほとんど認知されていない事実である。とはいえ、今回の研修に参加できて、真剣な勉強もし、新しい友人との出会いもあり、大変有意義な時と場であった。今後も回を重ねて多くの仲間に触れてもらいたいと思う。



JIA群馬クラブ建築展 出 澤 潔

第4回JIA群馬クラブ建築展が11月22日、高崎シティギャラリーで開かれた。会場はA・レイモンド設計の名建築、群馬音楽センターを眼の前にした高崎市の核とも言えるべき所で、2階建の近代的な素晴らしい施設。都市の中核にあのようにスケールダウンした親しみやすい施設が設けられていることに、私はとても羨ましく思い、高崎の高い文化を感じた。

この催しは、素晴らしいポストカード・パンフレットが準備され、群馬県・上毛新聞社・NHK前橋放送局の後援を得るなど、群馬クラブの皆さんの意気込みを感じさせるものがあつた。「建築を楽しむ」というテーマの会員作品展は模型を交えた素晴らしいプレゼンテーション。併設ではJIA・Nコレクション作品展示、学生賞作品展、建築相談コーナー及び鈴木エドワード氏の「場の建築」と題する記念講演が行なわれた。記念講演に先だち街角の喫茶店でとてもフランクな感じの懇親会が開かれ、支部、近県クラブ、群馬クラブの皆さんと本当に気軽に楽しいひとときを持つことができた。



編集人 関 邦 則
発行人 出澤 潔
発行所 JIA長野県クラブ
長野市大字南長野字
宮東426-1
長野県建築士会館内
TEL 026(232)3897
FAX 026(232)5303
作 成 新建新聞社